

Constellation of stars news

「煌星」

きらぼし／ほしのきらめき

MORISEA SAID

2026年がスタートしました。
今年もよろしくお願いいたします。

1月に6名の新しいメンバーが加わり、SEISAアカデミー生は27名となりました。2025年はフィールドワークの導入、諏訪へ学びの合宿、夏課外&アカデミー万博の実施、星槎国際高校鴨居学習センターの文化祭参加(高校生)、中2のサイパン海外英語研修などここに書ききれないくらい「アカデミー初」の挑戦をしてきました。みんなと一緒に駆け抜けてきた、そんなスピード感のある年でした。

今や日本を代表する人気バンドになったMrs. GREEN APPLEも2026年より「フェーズ3が始まった」と宣言していましたが、自分自身もSEISAアカデミーも2026年は次のフェーズに行く年にしたいと思います。SEISAアカデミーがスタートした2023年4月から2026年3月までの3年間をフェーズ1とするなら、次はフェーズ2が始まるということですね。経営者は3つの時間軸(短期・中期・長期)を同時に持ち、それを行き来することが必要だと言われてはいますが、短期でいうと2年先を考えています。設立して5年後アカデミーがどうあるべきか。フェーズ2では「アカデミー独自の教育スタイル」を確立し、学校作りの土台を完成させることが目標です。ここまでを第1形態として動いていきます。

自分自身のフェーズ2としては「学び(専門性)」をテーマにします。SEISAアカデミーに関わって以降、常に子どもたちから、保護者の皆様から学ばせてもらいここまで来ました。現場での「実践的な学び」が中心でしたが今年は「理論的な学び(座学)」を追加します。1つは「学びの多様化支援士履修証明プログラム」を、もう1つは小学校教員資格認定試験対策講座を受講すること。後者は小学校教員免許をとることが目的です。自分をアップデートする、ますます忙しい年になりそうです！

月間スケジュール (1/25~3/7) 睦月-如月-弥生

日	月	火	水	木	金	土
25	26 煌星 35号発行  上弦	27	28 理科実験	29	30	31 保護者会
2/1	2 オンライン  満月	3 オンライン	4 休校	5 入試 休校	6 入試 休校 星中合格発表	7
8	9  下弦	10	11 建国記念の日	12	13 数学検定	14 土曜体験講座
15 ZINE フェス出展	16	17  新月	18	19	20	21 後期プレゼン発表会
22	23 煌星 36号発行 天皇誕生日	24 振替休日  上弦	25 理科実験	26	27	28
3/1	2	3  満月	4	5	6	7

← 4日間体験入学 →

【リマインド&お知らせ】

お知らせ ※予定は変わることがあります。クラスルームでのお知らせも併せてご確認ください。

- 1月31日(土)保護者会 10:00~10:40全体会/10:50~11:30学年会/11:30~12:00フリータイム
- 2月13日(金)数検
- 2月1日(日)~3日(火)星槎中学入試※アカデミーは2日(月)、3日(火)はオンラインで授業します。
- 2月4日(水)星槎中入試振替のため休校
- 2月5日(木)、6日(金)アカデミー入試※この2日間はスタッフが入試対応にあたるためアカデミーは休校となります。
- 2月15日(日)ZINE フェス参加(数名の児童生徒とイラスト講師のだーしま、もりしーで参加します)
- 2月21日(土)後期プレゼン発表会→2月24日(火)をアカデミー生は振替休日とします。
- 2月21日(土)後期プレゼン発表会→2月24日(火)をアカデミー生は振替休日とします。
- 3月14日(土)星槎中学校卒業証書授与式
- 3月20日(金)、3月21日(土)「アカデミー学びのフェス~ART 編~」実施 MUSIC(DTM)、イラスト、美術、ものづくりなど ART 系の学びのフェスを2日間で実施いたします。夏に学びのフェスを実施しましたが、そのART 編です。なんと、だーしま(イラスト講師)となかしー(DTM 講師)が福岡から来校します！待ちに待った対面での授業です。保護者も参加できますので普段のアカデミーの学びをぜひ見に来てください。

新春特別企画 1 STAFF 今年の一文字

一文字	理由
甲 加	「学び」を加えて自分をアップデートする。今年は足りないピースをひとつひとつ丁寧に「加」えていくプロセスを楽しみます。また、自分の体調不良は喉からくる傾向があることが分かりました。加湿器を加えるか、検討中です。(もりしー)
乙 潤	手がカサカサで初めてハンドクリームを使っています。いろいろな箇所に潤いが欲しいです。心と身体に潤いを！ 趣き、しみじみとした味わい、という意味もあるようです。(よっしー)
丙 熱	2026年の漢字は「熱」です！最近年をとったせいか、色々な出来事に「冷めて見てしまう」傾向があります。なので、奮起し若返りをはかる意味で、情熱の「熱」を掲げたいと思います。まずは、この身体について余分な脂肪から「熱」で除去し、身軽な第一歩から頑張りたいと思います！変身する姿を見届けてくれ！(いそっぴ)
丁 亏	「亏」はコード番号(U+22014)で識別される、まだ一般的な意味や読みが定まっていない漢字の部品のような文字だそうです。世の中にはこのようなものもあるんだなあと感心してしまいます。つい今あるものには理由があり意味があると思ってしまいますが、既成の概念は疑う必要があると思わせてくれます。知ったかぶりはダメですね。(マリオ)
戊 素	「素」の文字は「もと・はじめ・混じりけのない」などの意味を持つ漢字ですね。年の初めも連想させます。今年(2026年)は西暦2026年ですね。偶数なので2で割ると「1013」という素数が浮き彫りになります。また1気圧である標準大気圧が1013hPaであることも興味深いですね。年の初めに当たり、素数(1013)を意識した数学や物理を中心とした授業に心がけたいと思います。(ふーみん)
己 萌	植物を表す「くさかんむり」と「明るさ」を表す「明」が合わさり、光を浴びて草木が成長する様子や草木が芽を出す萌芽(ぼうが)の様子を表している字だそうです。成長や物事の兆しを感じさせてくれる縁起良い字だと思います。アカデミー生の成長、今月から入学したアカデミー生にとって新たなスタートの年になれたらいいなと思い選びました。皆さんにとって2026年が萌える一年となりますように。(あいちゃん)

<p>庚</p> <p>力</p>	<p>大小関係なく新たな事に挑戦する年にしたいと同時に、それらを行動に移す為に必要な「力」を養いたいと思い、今年の1文字に選びました。年々体力と気力が落ち、自分の生活がおざなりになってしまっている感覚がずっとあり、このままでは嫌だと思い、自分を鼓舞する意味でも選んだので「力」を胸に頑張ります。(しーちゃん)</p>
<p>辛</p> 	<p>今年の漢字、、改めて考えると中々浮かばず、一瞬「悩」にしようか迷いましたが、「遊」にしました。最近遊び心を忘れてしまっている自分への戒めですね！今年はたくさん遊ぶぞ～～！ PS. Nano Banana Pro(画像生成AI) で「遊」っていう字をできるだけはっちゃけた感じのイラストにして！ でできたイラストです。 (りゅうちゃん)</p>
<p>壬</p> <p>試</p>	<p>日々、目の前の事に精一杯向き合っていたかねごんも、気付けばアカデミーに来てから二年が経ち、三年目を迎えようとしています。というわけで、三年目を迎える今年は少しずつでも色々な事を試したり、色々なことに挑戦したりと、新しい何かをする一年間にしたいと思います。(かねごん)</p>

新春特別企画 2 これだーれだⅡ 時代は流れていくものです

今回は難しい気がします。言われてみるとなるほどなというものがそろっています。何気に背景の映り込みと「写真の頃に流行っていたことやあなたの様子」が大きなヒントになるかもしれませんね。しかし皆さんかわいらしいこと。
解答は、academy@seisa.ed.jp までメールしてください。全問正解者はでるのかな？

だーれだ？	写真の頃に流行っていたことやあなたの様子
<p>子</p> 	<p>このころは聖子ちゃんカットが流行っていて、車の中でもよく聖子ちゃんの歌を聞いていました。エリマキトカゲにひとめぼれして、棒を挿して押したらパタパタと走るエリマキトカゲのおもちゃを買ってもらったことを今でもはっきりと覚えています。大人になってからもウーパールーパーにひとめぼれして5年飼っていたのでそういった動きをするものに魅かれるのは今でも変わっていません。</p>
<p>丑</p> 	<p>この写真から少し時間が経った頃には、赤い服を着たがったようです。なんとなく小学校低学年までそうだった気がします。そしてボケボケしていたらしく、あちこちにぶつかったり怪我が多かったようです。ここからの成長過程もまた機会があれば見てほしいです。</p>
<p>寅</p> 	<p>この頃(年長6才)、親から「かっちゃん」と呼ばれ、近所のガキ大将からは、「鼻たれ小僧」と呼ばれていました。なんでも分解するのが好きで、ラジオ・テレビ・目覚まし時計・兄のモデルガンなど分解しては元に戻せず、父や兄から、叱られてばかりいました！ 特に、クワガタやトカゲを捕まえては、レゴのブロックで迷路を作り、出口までたどり着くか挑戦させ、その様子を観察して楽しむ子供でした！</p>

卯		<p>4歳の頃ですね。こどもの国線が開業した年です。公害に関するニュースが大きく取り上げられていた頃です。イタイタイ病・第二水俣病(阿賀野川水銀中毒)の原因確定や四日市ぜんそく訴訟(初の大気汚染訴訟)などがありました。戦後復興が終わったような気がしている影でそのひずみが明らかになりました。TVではウルトラセブンの年です。こども心に大人向きなのかもしれないと感じていたことが思い出されます。</p>
辰		<p>私の2歳くらいの写真です。世の中はJリーグ開幕によるサッカーブーム、「YAH YAH YAH」や「負けないで」などの大ヒット曲、TKブーム(小室哲哉プロデュース)やナタデココやタイ料理の激辛ブームがあったようです。Jリーグ開幕の影響でしょうか?小学生のころになると少年サッカーのチームに入って練習していたりもしました!笑っている顔は当時とあまり変化がないような気がします!</p>
巳		<p>1才の頃の写真です。高さが1.5m程あるチェストに登り、降りられず泣くを何回も繰り返したり、家を飛び出したりとやんちゃで、いわゆる手のかかる子でした。この頃の出来事は、小惑星探査機『はやぶさ』の打ち上げに成功したり、東京・大阪・名古屋で地上デジタル放送が開始されたり、SMAPの『世界に一つだけの花』や福山雅治の『虹』がヒットする等がありました。『踊る大捜査線』の劇場版第2作目が公開された年でもあり、「レインボーブリッジ封鎖できません!」と「どうして現場に血が流れるんだ!」の言葉が印象に残っています。</p>
午		<p>まだ無垢で無邪気な瞳をしていた頃の私です。この頃は毎日が新しい事・新しい出会いで溢れていました。今ではいつの間にか大人と言われるほどの月日が経ってしまい、あの頃の無邪気な瞳は失われてしまいました。しかし、不思議なもので、新しい出会いに溢れている事は変わりがなく、むしろ今までの出会いを別の角度から見られるようになったと思います。さて、この時代は、携帯電話が小型化していき、遂には二つに折ってポケットにしまえるようになりました。他には、もう少し時間が経つと「プリキュア」シリーズが始まるのがこの頃です。</p>

YOSSY's ROOM

【手帳】

2026年が始まりました。新年。新しい年を迎える、1月はやはり好きですね。

新しい年が近づいてくる年末など、【手帳】を物色し始めますよね。今年用も購入し使い始めています。私は随時二つの手帳を使い分けているのですが、仕事の時もオフの時もポケットや身に着ける方の手帳はずっと同じデザインのものを使っています。実家に帰った際に今までの手帳を整理していたら20冊以上(20年!)になっているのに気づきました。

でも、何故でしょう、一冊一冊を見返して思い出に耽る、そんな気には全くなれませんでした。こんなことがあったなあ、前は良かった、懐かしい、そんな感情になりたくはなかったんですよね。おそらく、今を全速力で駆け抜けているから(そうだったらいいのですが)な気がします。そんな時に振り返ると、前に進む《速度》と《気力》が落ちてしまう気がします。

なので、整理して置いてきました。

新しいことを始めるときは、今までの経験や習慣が邪魔になる時があります。それが重たくて走ることができない！そうならないように今年も心がけます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします！



あいちゃんだより

おかげさまで娘は1歳3ヶ月となり、すくすくと育っています！毎日保育園の先生方と連絡帳を通して娘の様子を共有しているのですが、家庭では見ることができない成長や他の子どもたちとの関わりがたくさんあるようで、連絡帳を読むことが毎日のちょっとした楽しみとなっています。連絡帳には「髪留めの飾りをつけていると誤飲につながるの、飾りのないヘアゴムにしてください」といった内容や「給食で高野豆腐を食べさせるので自宅で高野豆腐を2回以上食べさせてください。」などといった連絡から、「今日はお散歩中にお友だちと手をつないで歩くことができました！」といった細かな様子まで共有してもらっています。保育園を選んでいた当初はなるべく広くて人数の多い園のほうが良いかと思っていたのですが、保育園の見学や園長さんとの対話を重ねるにつれて、規模はあまり関係ないのでは？と感じるようになり、小規模ですが今の保育園を選びました。保育園の中には園児の人数が多く、英会話や体操などのカリキュラムを組んで人気が出ているところもあるようですが、小規模でも丁寧に見てくれる場所がやっぱりいいなと思うようになりました。娘は少し自我のようなものができて、嫌な時は首を振ったり声を出して嫌がったりするようになりましたが、いろいろな方々との関わりを大切にしながら娘の成長を見守りたいと思います。

先月のクイズ解答

【前回の解答です】



かねごん



マリオ

編集後記

年が変わりました。授業でもテストでもやっている十干十二支《じゅっかんじゅうにし》でいうと、今年は「丙午（ひのえうま）」の年になります。甲乙丙丁戊己庚辛壬癸の十干を「甲乙」「丙丁」「戊己」「庚辛」「壬癸」と二つずつ分けて最初が兄（え）次が弟（と）として、木火土金水の五行で区分して「きのえ」「きのと」「ひのえ」「ひのと」「つちのえ」「つちのと」「かのえ」「かのと」「みずのえ」「みずのと」とします。これと、十二支「子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥」を組み合わせると「甲子（きのえね）」から始まる最小公倍数の60個で一回りするのです。これが還暦という理由です。今では十二支のことを「え」とよんだりもしますが、本来十干十二支で「干支（えと）」といいます。中国伝来のこの暦法は記録に残るところ、飛鳥時代から1000年以上続いています。歴史で耳にする「戊辰戦争」は「つちのえたつ」の年のことだったのです。「壬申の乱」は「みずのえさる」の年ですし、中国の「辛亥革命」は「かのとい」年のことです。甲子園ができたのは「きのえね」の年です。年明け早々アカデミーの授業のようでしたが、このようなことを知ると今を見ると面白いですね。これらのことを高校生中心の人文科学・社会科学総合で取り扱っている、近代合理主義やTaoの思想、レヴィ＝ストロースなど加えてAIと議論するととても刺激的でこれまた面白いですよ。人類が築いてきたものが現在にも溶け込んでいるのですよ

ね。

さて、**丙午**という迷信が人々の心と行動に影響し、60年前には出生数が激減しました。1965年【182万人】**1966年【136万人】**1967年【194万人】前後を比較するとすごいですよね。この60年前(1906年)の丙午の年も激減しています【152万⇒**140万**⇒161万】。しかし、昨年の出生数は【68万人】です。人口動態は確実に事実として未来へ繋がります。こどもも急に年を重ねるわけではありません。ゆっくりの変化に人間は鈍感ですが、それでは済まない社会状況になってきていますよね。昨年生まれたこども達が小学校に入学するのは7年後です。前回の**丙午**の年生まれのこども達は校内暴力と管理教育の中高時代でしたね。金八先生の時ですね。4年制大学進学も進み卒業の頃はバブル経済全盛でしたね。そして、ゆとり教育の起点になった頃とも言えます。教室は余るし、教員にも人的余裕ができた年でしたが、昨今の現実に社会はどう対応するのでしょうか。個人的にはDE&Iの時代、Well-beingを目指す社会が共有される中では、アカデミーの必要性がますます高まると考えています。(YM)